



令和3年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 42

令和4年2月18日

文責:校長 神尾孝弘

三寒四温～春が顔を出しました～

2月も中旬を過ぎ、日差しの温かさを感じる日も多くなりました。学校のまわりの雪もずいぶん少なくなり、花壇の雪も溶けています。よく見ると、秋にみんなで植えたチューリップの球根からぽつりぽつりと芽が出始めています。それを見つけた子どもたちは、一斉に歓声を上げました。花壇から顔を出した球根の芽は、そんな子どもたちの様子を嬉しそうに見つめているようでした。



もうすぐ春。
こんなふうにか
いれいな花が咲き
ますよ。↓



【6年生へのメッセージ】

2月15日（火曜日）。お昼のしらさぎタイムの時間に、縦割り班の6年生に向けたメッセージカードを作りました。縦割り班ごとに、6年生へのメッセージをみんなで書きました。初めて書いた1年生も、上級生に教えてもらいながら、がんばって書きました。

メッセージカードには、今までお世話になった6年生への感謝の気持ちや中学校に向けてのエールなど、在校生一人一人の温かい思いが記されています。今回みんなで書いたメッセージカードは、3月に予定されている「6年生を送る会」で、6年生にプレゼントされます。

メッセージカードに込めたみんなの思いは、6年生の心を明るく、そして温かく灯すことでしょう。その頃には、もう春ですね。



【雪の朝／善い行いを自主的に】

2月17日（木曜日）は、雪の朝でした。子どもたちの登校前の時間帯に、降り方が強くなり、あっという間にあたり一面が雪景色に変わりました。登校してきた子どもたちは、誰が言うともなく雪はきを始めました。次に到着した班の子どもたちも、それに続きます。気がつくと、みんなで積もった雪をはいています。

このように、善い行いを自主的に行うことができる福田小の子どもたちは、えらいなあと思います。きっと、家族や地域の人たちの後ろ姿を見て育ったからできるのだと感じます。福田小のよい伝統をまたひとつ見つけた雪の朝でした。

三寒四温を繰り返し、季節は春に向かっていきます。